



2023年10月16日

各 位

会 社 名 株式会社 大庄
代表者名 代表取締役社長 平 了壽
(コード：9979 東証スタンダード市場)
問合せ先 代表取締役副社長兼管理本部長 野間 信護
(TEL. 03-5764-2229)

特別損失の計上、繰延税金資産の計上及び業績予想との差異並びに2023年8月期 期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年8月期第4四半期連結会計期間において特別損失の計上及び繰延税金資産の計上を下記のとおり行いましたので、お知らせいたします。併せて、2023年4月14日に公表しました2023年8月期の業績予想と実績値との差異が生じたので、お知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2022年10月14日に公表した期末配当予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社は、2023年8月期第4四半期連結会計期間において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、店舗閉鎖等に係る設備資産等の減損処理による減損損失146百万円を計上しました。

2. 繰延税金資産の計上

当社における繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、当該繰延税金資産を計上することとし、連結ベースで法人税等調整額(益)△458百万円、個別では△441百万円を計上しました。

3. 業績予想との差異

(1)2023年8月期通期連結業績予想との差異(2022年9月1日～2023年8月31日)(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	45,383	△281	△362	△907	△43円22銭
実績値(B)	45,495	△461	△486	△769	△36円65銭
増減額(B-A)	112	△180	△124	138	
増減率(%)	0.2	-	-	-	
(ご参考)前期実績(2022年8月期)	35,799	△5,390	△410	△770	△36円70銭

(2)差異の理由

売上高につきましては、飲食事業において3月以降、新型コロナウイルス感染症に係る活動制限が緩和した事も踏まえ徐々に既存店売上高が回復する事を見込んでおりましたが、主に8月の台風や猛暑等により客足が伸び悩んだ影響もあり、店舗売上高は計画を下回りました。一方、卸売事業において新規取引先も含めた対外売上高が計画に対し増加したこと等により、売上高は前回予想を上回りました。営業利益及び経常利益につきましては、販売費及び一般管理費は減少したものの、上記店舗売上高の減少等により売上総利益が減少した影響により、前回予想を下回りました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、減損損失などの特別損失は増加したものの、上記繰延税金資産の計上における法人税等調整額の計上により、前回予想を上回りました。

4. 期末配当予想の修正

(1) 配当予想修正の理由

当社は、企業価値の向上並びに株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題に位置付けております。また、利益配分につきましては、事業拡大に向けて内部留保の充実に努めるとともに、株主の皆様に対しては、安定した配当を継続的に行うことを基本方針としつつ、業績動向や財務健全性の状況も十分に考慮した上での適正な利益還元を行っていきたいと考えております。

当期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい結果とはなりましたが、足許での飲食事業の着実な回復や各事業における取組み施策等により下半期においては営業黒字で推移している事も踏まえ、当期末の配当金につきましては1株当たり6円とさせていただきます、通期では前期と同額の年間6円となります。また、次期の配当金につきましては、現時点では未定とさせていただきます、今後の業績等を勘案しながら判断してまいります。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 修正の内容

基準日	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2022年10月14日)		未定	未定
今 回 修 正 予 想		6円00銭	6円00銭
当 期 実 績	0円00銭		
前 期 実 績 (2022年8月期)	6円00銭	0円00銭	6円00銭

以 上